

● **使用材料・使用器具**

使用材料

キクスイ 15kg/缶
 プライマースーパーE
 グラナダSi 20kg/缶

使用器具

計量 秤
 基層塗り リシガン
 模様塗り リシガン

● **標準施工仕様**

(23°C、50%RH)

工程	使用材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗り 回数	工程間隔時間(hr)		備考
					工程内	工程間	
下塗り	キクスイ プライマースーパーE	15kg 無希釈	0.1~0.19	1		3以上	エアレススプレー等
基層塗り	グラナダSi	20kg	0.6~0.7	1	—	6以上	リシガン 口径:3~4mm 吹圧:0.5~0.6MPa
	清水	2~3kg					
上層塗り	グラナダSi	20kg	0.4~0.5	1	—		リシガン 口径:3mm 吹圧:0.5~0.6MPa
	清水	2~3kg					
養生撤去	養生シートなどの撤去を行う。				—	直後又は 乾燥後	
最終養生	施工後、降雨の恐れのある場合は適切な保護養生をする。				—	24以上	

● **標準施工要領**

0. 注意点

- ①フラットパターンは特に薄塗り仕上げであり、下地は特に平滑であること。
- ②フラットパターンは特に薄塗り仕上げであり、下地は特に吸い込みムラのないこと。
- ③フラットパターンは特に薄塗り仕上げであり、乾燥が速いため、施工面積や、日光など考慮し、吹き継ぎムラがでないように施工する。
- ④この意匠の用途としては、内壁を主とし、外部は軒天、アクセント使用程度とする。

1. 下塗り

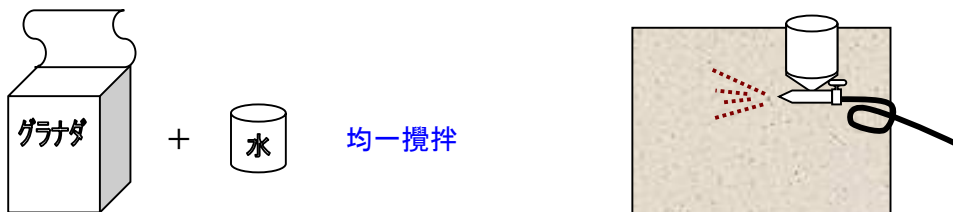
- ①下塗材は、下地の状況に合わせて、適切な下塗材を選定する。
- ②下塗りは、下地の吸い込みとそのばらつきを防ぐため、だれ、塗り残しのないように均一に塗り付ける。コーナー部など入隅、出隅は特に入念に塗付する。

2. 基層塗り

- ①開缶後缶壁に付着した主材を缶内に落とし、一度均一にまぜる。
- ②主材に、指定量内の清水を加えハンドミキサーなどで均一に混合し、定められた模様になるように粘度を調整する。計量は秤や定量ヒシャクなどを使用する。
- ③基層塗りは、下地がスケないようにリシガンで吹き付ける。できるだけ平滑に吹く。
- ④フラットは、一度に多く吹き付けるとクレータ気味になるため、注意して施工する。

3. 上層塗り

- ①主材は定められた仕上がりになるように指定された清水を加え、ハンドミキサーなどで均一に混合する。なお、水の計量は秤などを使用し、希釈水量はあらかじめ試し塗りして決める。
- ②上層塗りは仕様にあった施工用具を使用し、指定された所要量を平滑に吹き付ける。
- ③希釈、ガンの口径、吹き付け圧などの条件設定で、できるだけ平滑に吹く。



4. 養生撤去他

- ①養生の撤去は、施工終了後直ちに行う。すぐにできない場合は、材料が完全に乾燥した後、慎重に行うこととする。
- ②外部施工で、施工後、降雨の恐れのある場合は適切な保護養生をする。